

1. 調査概要

① 目的

市民ミュージアムの今後のあり方を検討するにあたり、興味のある方だけではなく、市民ミュージアムに訪れたことがない方も含めて幅広い層から回答を募ると同時に、次世代を担う若者（中高生）や、障がいのある方に意見を伺い、多面的に市民の意識やニーズを明らかにすることを目的とする。

② 調査期間 9/18～10/9

③ 調査方法 調査票郵送配布回収、無記名自記式

④ 対象者 市内在住の18歳以上の市民（障がい者含む）、外国人、中学生（特別支援級含む）、高校生

⑤ 調査地域 市内全域（各区で均等に配布）

⑥ 対象者抽出方法  
 ・ 一般は住民基本台帳より無作為抽出  
 ・ 中高生、障がい者は協力組織・学校を通じて配布

⑦ 対象別配布数・回答数・回答率

■18歳以上の市民

対象	配布数	回収数	回収率
一般	3,500	1,533	43.8%
内、外国人	110	20	18.2%

■協力組織を通じた配布・回収

対象	配布数	回収数
中学生 (特別支援級含む)	150	150
高校生	125	125
障がい者	53	53
計	328	328

2. 集計結果概要 - 1

(1) 「これまで」の市民ミュージアムについて

①博物館・美術館一般への関心度

回答者の過半数にあたる62.2%が「ある」「どちらかと言えばある」と回答。20～30代は約63%、40代以上では67.0%以上（70代除く）になり、程度の違いはあるが多くの人々が博物館・美術館に関心を持っている。

②来館経験・認知度

「行ったことがある」のは37.8%、「行ったことがない」「知らない」は30%前後

- 「行ったことがある」は10代と50～60代が40%以上で高い。
- 20～30代の来館経験が30%以下で低く、20代の48.8%が「知らない」と回答。

③「行ったことがない」理由

「具体的に何があるかわからない」54.8%が最も多く、次いで「行きにくい場所にある」37.8%、「時間がない」27.1%が続く。

④施設別利用率と満足度

常設展・企画展の利用率は80%前後。常設展は10代と40代以上、企画展は40代以下(20代を除く)の満足度が高い。その他施設の利用率は40.3～55.8%、10～40代の満足度が高い

	常設展	企画展・ アートギャラリー	その他施設※3
利用率 ※1	● 75.5% ● 20～30代約60～70%。60代86.0%。	● 81.4% ● 30代以上は約80～85%で一定	● 40.3%～55.8%
満足度 ※2	● 41.8%(利用者の約55%) ● 20～30代が30%台前半でやや低い。関心度別では関心度に比例して高い。	● 57.2%(利用者の約70%) ● 10代(60.0%)、30代(58.5%)及び女性(63.8%)の満足度が高い。	● 20%前後(利用者の約40%～50%) ● 「大変良かった」は10～40代が10%前後で比較的高い。

※1 利用率：「利用していない・記憶していない」「無回答・無効回答」の合計を除く比率

※2 満足度：「大変良かった」「良かった」の合計

※3 講座・イベント/映像ホール・ミニホール/ミュージアムライブラリー/ショップ・レストラン・研修室等

(2) 「これから」の市民ミュージアムについて

川崎市の歴史やゆかりの作家への支持が多く、地域や企業との連携、博物館・美術館連動展示がそれに続く。体験型展示や新進気鋭の作家、歴史とアートの融合等は高年齢層に比べて若い世代の支持が多い。緑豊かな環境、心地よくリラックスできるスペース、カフェ・ショップ等は幅広い世代が支持

	博物館	美術館
あると良いと思う展示	川崎市ゆかりの文化財や資料の展示が44.6%で最も多く、体験型展示が42.3%、話題性のある展示が40.4%、体感型展示38.3%及び博物館・美術館連動展示35.3%と続く。	有名な作家や作品43.3%、川崎市ゆかりの作家や作品42.2%で他の選択肢に比べやや多い。新進気鋭の作家は20代48.8%に対して60代31.0%、70代23.7%となるなど、新進気鋭の作家やコレクションを活かした展示、歴史とアート作品の融合は若い層で多い。
収集すべき資料	「川崎市の近・現代」が48.5%で最も多い。「有名な文化財・資料」は29.4%で7選択肢中5番目。	絵画・彫刻・陶芸が49.0%で最も多く、次いで川崎市ゆかりの作家や作品が39.7%で続く。写真31.7%・漫画28.1%・映画28.1%・映像28.3%と概ね30%前後。写真や漫画は10～20代が37～40%で他年齢に比べ多い。
あると良いと思う企画展	川崎市の企業との連携42.0%、川崎の歴史38.6%が上位となり、商店街・施設連携33.4%、世の中の話題に対応したテーマ31.7%、歴史とアートの融合29.0%と続く。	川崎市ゆかりの作家や作品が40.0%で最も多く、次いで有名人やタレント32.3%、新進気鋭の作家29.8%と続く。年齢や関心度により違いがみられる。
取り組むべき活動	子ども向けプログラム44.9%と川崎市の歴史・文化・民俗の調査研究37.9%、企業連携36.6%が多いが、年齢による回答率や順位の違いも大きい。	子ども向けプログラムが42.2%で最も多く、次いで市民向けプログラムが34.0%、川崎市ゆかりの作家等の研究33.9%、学校での地域学習サポート32.2%と続く。年齢や関心度で回答に違いがみられる。
展示室以外であると思う良い機能	心地よくリラックスできるスペースが53.7%で最も多く、次いで緑豊かで解放感のある環境51.8%、カフェ・レストラン・ショップ47.1%が続く。子ども連れのための施設やプログラムは年齢により大きな違い。	

来館にあたって重視する点

企画展の内容60.5%、常設展の内容42.7%、交通アクセス※35.9%が上位次いでカフェ・ショップ等、入館料、建物全体の雰囲気30%前後が続く。

※交通アクセス：施設までの所要時間や交通手段

2. 集計結果概要 - 2

(3) 居住区別の特徴等について

- 市民ミュージアム所在地である中原区は来館経験（行ったことがある）率が高く、来館回数も多い。**中原区から遠くなるほど、来館経験率は低くなる傾向**（中原区の来館経験率60.9%、川崎市と麻生区では30%以下。中原区の来館回数は「10回以上」が21.6%を占め、他区の7.1%~11.4%の倍以上）
- 全市的に見ると、利用経験率の高さに応じて回答率全般が高いが、**志向やニーズ、来館にあたって重視する点などでの区別特徴に大きな違いは見られない。**

(4) 選択肢「その他」の自由意見について - 1

- 各設問の選択肢「その他」の自由回答には、その他以外の選択肢の具体的な内容説明やアイデアを記入しているものが多い。ここでは、具体的な内容説明やアイデアではなく、市民ミュージアム全体の役割や今後のあり方について記入されている回答を記載。

【問9】行ったことがない理由（自由回答全78件）

- ・遠い、アクセスが悪い・・・13件
- ・内容に興味がない・・・12件
- ・何をやっているかわからない・・・7件
- ・場所を知らない・・・7件

その他

- ・楽しさが伝わってこない。
- ・行くきっかけがなかった。
- ・最近引っ越してきたばかり。
- ・身体的に行けない。 など

【問10】博物館があると良いと思う展示（自由回答全111件）

- ・子どもが楽しめる展示・・・19件
- ・川崎の歴史、川崎ならではの展示・・・15件
- ・必要を感じない、税金の無駄遣い・・・5件

その他

- ・文化財に興味がある人は、美術・アートにはあまり関心がないと思います。よって明確に館を分けるべきです
- ・バーチャルで川崎めぐりができるコーナー
- ・川崎が売りにしているコンテンツとのコラボレーション（川崎フロンターレやJリーグ、アニメなど）
- ・ここを見たあと実際に市内にくり出してみたくなるようなつながりのある展示。生家とか生きもの紹介とか文化財の解説とか。 など

【問11】博物館が収集すべき資料（自由回答全91件）

- ・川崎に関する資料（産業、歴史、戦争など）・・・26件
- ・川崎市にこだわらなくてよい・・・7件
- ・川崎市の現在、未来構想に関するもの・・・6件
- ・子どもが学びにつながるもの・・・5件

その他

- ・川崎市と友好関係のある海外都市の有名な文化財
- ・川崎市の生き物、化石
- ・収集よりも、他から借りて特別展をして欲しい。
- ・注目される展示や話題性がないと人が集まらずムダになる など

【問12】博物館であると良いと思う企画展（自由回答全81件）

- ・川崎市以外のテーマ（話題のもの、食べ物、映画など）・・・25件
- ・川崎市の歴史、ゆかりの人や産業に関するもの・・・16件
- ・子ども向けの企画・・・5件

その他

- ・川崎市民が自由に参加できる作品展
- ・日本映画学校や昭和音大とのコラボ
- ・他の地方の美術館と交流して、なかなか行けない美術館の作品を紹介して欲しい。九州、東北など
- ・プロデューサーを入れると良いと思う
- ・どこにでもある様な中途半端な企画展は必要ないと思います。 など

【問13】博物館が取り組むべき活動（自由回答全71件）

- ・子ども向けの企画やプログラム・・・11件
- ・市民ミュージアムの広報・宣伝・・・6件
- ・地元との連携企画・・・3件

その他

- ・市民が協力してミュージアムを盛り立てていくような活動
- ・出向くのではなく来てもらえるような活動を
- ・まじめな勉強のイメージが強いので、楽しそうな企画を実現してほしい。
- ・過去はいい、現代と未来をどう考へて行くべきかを取り上げてもらいたい。
- ・参加型の企画をZoom活用で行っていただきたい。
- ・川崎市民に限らず、様々な人がおとずれる観光スポット など

【問14】美術館があると良いと思う展示（自由回答全49件）

- ・川崎に関連のあるもの・・・4件
- ・子どもたちの作品・・・2件

その他

- ・美術館の学芸員が是非おすすめという作品など（分野にとらわれず）
- ・インスタレーション、映像、音響など新しい体験型の企画
- ・美術館と博物館の複合施設の良さが出る企画がほしい。2館がただ併設されているのではなく、一体的に回遊できる計画にしてほしい
- ・障がい者・児の作品展を通じて障のある人達への偏見がなくなると良い。
- ・有名な作家の展示があれば行きたいと思うし宣伝効果になるのでは？
- ・展示にお金を掛けるより応援型を希望致します。 など

【問15】美術館が収集すべき資料（自由回答全57件）

- ・川崎市に関連するもの・・・9件
- ・収集する必要は無い・・・8件
- ・ある程度有名な作品・・・5件

その他

- ・種類は問わないが、市民がみたいと思うような作品
- ・今所蔵している作品を今まで展示してきて集客できていたのならそのまま継続すれば良い。集客できていないならば原因を考え、分野を変えるべきなのか、宣伝が足りないのか考えてほしい。
- ・自己満足的な物はいらぬ
- ・無名の作家さんでもすばらしい作品の発掘の為に など

【問16】美術館であると良いと思う企画展（自由回答全47件）

- ・川崎市民参加型の企画展・・・5件
- ・川崎市に関する企画展・・・3件

その他

- ・子供でもわかるわかりやすいテーマが良いと思います。
- ・近くで全国を巡回するような企画展があれば楽しみです。
- ・そこに行かなきゃと思えるタイプの展示。
- ・同じ企画展でも他県よりもチケット代が安い！！のがいいです
- ・話題のアニメや漫画の企画展
- ・市内の公共施設が保有するコレクション
- ・ネットで閲覧出来る様にして下さい、ネットで見ごたえある企画 など

【問17】美術館が取り組むべき活動（自由回答全47件）

- ・PR活動・情報発信・・・5件
- ・子どもがアートに触れる体験・・・3件

その他

- ・川崎の美しい物を集める。
- ・障害者・児の美術の才能をのばす活動。
- ・市民参加型でいっしょに創り上げていけるような活動
- ・中途半端な作品を展示しても意味がないと思います
- ・アートなカフェとかあれば行くかも。
- ・観光スポットになるような企画
- ・外国の方も楽しめるように、英語表記もあるといいと思います。 など

2. 集計結果概要 - 3

(4) 選択肢「その他」の自由意見について - 2

【問18】 展示室以外で、どのような機能があると良いと思いますか？ (自由回答全82件)

- ・屋外の活用・・・9件  
(屋外展示がある自然を感じるくつろげる場所)
- ・普段から気軽に利用できるカフェレストラン・・・5件
- ・子ども連れでも楽しめるスペース・・・3件
- ・災害時の避難場所・・・3件

その他

- ・災害から所蔵品を守る美術館が一番だと思います。
- ・いずれにしても当地は地理的に不便なので余り利用したいとは思っていない。
- ・市民活動に利用できるアトリエやスタジオ貸会議室は重要
- ・企業と提携して企画をするとおもしろいアイデアも出て良いと思う。
- ・役所の機能があること。(出張所のようなもの) 土、日でも利用できる役所機能があれば、行きやすくなる。 など

【問19】 来館に当たって重視すること (自由回答全102件)

- ・目玉となる有名な作品、見たい作品があるかどうか・・・10件
- ・行きやすいかどうか・・・7件
- ・駐車場があるかどうか・・・5件
- ・子どもが楽しめるかどうか・・・3件

その他

- ・障がい者、高齢者も行きやすいバリアフリーが重要。1番大事です。
- ・トイレがきれいであること。 オムツ替えエリアがあること (男、女どちらも利用可) ベビーカーでの移動ができること。
- ・オシャレかどうか
- ・遅くまでの開館 だれでもが自由に行ける事
- ・駅やホーム、電車内の広告が魅力的かどうか
- ・クチコミが低いと行かない。
- ・文化は人の心の栄養です。税金を大切に活用してほしい。
- ・ミュージアム存続ありきだと意味ないと思います。税金ムダにならないよう、目的をしっかり持った方が良いでしょう。
- ・予期しない災害が発生しても、影響が最小限になるように、事前の対策を充分にとって下さい。 など

(5) 中高生の自由意見について

【問20】 中学生・高校生の皆さんが、もっと博物館・美術館に行くようにするには、何があればよいと思いますか？ (自由回答全200件)

展示・イベント

- ・体験できるもの・・・24件
- ・話題のものや流行りのもの・・・16件
- ・有名な資料や作品に関するもの・・・15件
- ・写真映えのするもの・・・10件
- ・子どもも楽しめるもの・・・6件
- ・時代の最先端を感じさせるもの・・・6件
- ・アニメや漫画、ゲームを扱ったもの・・・6件

環境・設備

- ・リラックスできる空間や休憩スペース・・・17件
- ・誰でも気軽に入りやすい雰囲気のある空間・・・15件
- ・レストランやカフェ・・・12件
- ・勉強ができる空間・・・7件
- ・公園や緑のある空間・・・4件

立地

- ・アクセスのよい場所にあるとよい・・・8件
- ・他の目的のついでに利用できるとよい・・・5件

PR活動・情報発信

- ・ネットやSNS、スマホとの連動が必要・・・8件
- ・地域に対する情報発信・PRを増やした方がよい・・・5件
- ・学校に対する情報発信・PRを増やした方がよい・・・5件
- ・学校の授業や行事で利用する機会があると行きやすい・・・5件

サービス

- ・入館料を安くしてほしい・・・9件

その他

- ・川崎で有名な画家さんの絵の展示や、若手作家の紹介の展示などは興味があります。
- ・現代アートの展示を期待します。
- ・歴史的にすごい展示を見るのも好きですが、現代風のこの時代に生まれたアート(新しいアート)も沢山知りたいです。
- ・様々な市民団体が集まって、行うイベントやお祭りの様なもの。
- ・地域参加型イベント
- ・座って絵をかいったりできるような場所をつくるのと、子どももたのしめるような企画を自由スペースにおいておくなど。
- ・wifiが使える
- ・バリアフリーに特化した構造又は展示、年齢や障がいの有無に関わらず楽しめる場所であってほしいと思います。
- ・麻生区などからだと行くのに小田急線から乗り変えて行かなければならぬため、市民ミュージアムにだけ、という理由で行くのはむずかしいのではないかと思います。なので、緑の多い広場や大きな図書館など他の利用目的で行けるような施設があるといいと思う。
- ・自分の作品が有名、著名なアーティスト、芸術家の目に止まって、創作や、その後の活動に関わってくれたり、サポートしてくれたり、SNSとかで紹介してくれたら嬉しいです。 など

(6) 障がい者の自由意見について

【問】 美術館・博物館を利用される際に困ったことはありますか？  
回答者の15.6%が「ある」と回答。

困った内容 (自由回答全10件)

迷子になる

- ・回ってるあいだに迷子になるか
- ・まわる場所がわからず、迷子になりそう
- ・どこで何をやっているか、わかりやすくしてほしい

休憩スペースがない

- ・イスなど休憩スペースが少ないこと
- ・疲れた時に、休めるスペースがたくさんほしい

トイレや動線の問題

- ・トイレの位置は重要
- ・自動販売機の前は広くスペースとってほしい
- ・車イスでの移動が楽な方がいい
- ・車イス用トイレの場所
- ・段差があつてつまずいたり移動が気軽にできず遠回りすることがあった

その他

- ・静かにできない人(自閉症など)をつれていけない

【問】 あれば良いと思う施設や設備、サービスがあれば教えてください (自由回答全22件)

環境・設備

- ・休憩スペース・・・6件
- ・多目的トイレ・・・4件
- ・飲食スペース・・・4件
- ・大きめのエレベーター
- ・外の緑が見えたり開放感があること
- ・場所により、全くの音無しより、BGMを流して頂けたら、緊張も休らげる様な気がする。
- ・ベビールームとか作ってほしいです
- ・こどものあそぶ所も作ると、こどもが、さわいだりしても大丈夫だと思えます

来館者サービス (解説設備等)

- ・VRの活用してほしい
- ・音声の解説
- ・さわるとスイッチが入って説明してくれる
- ・イヤホン? みたいなものを聞いて、より良くわかるようにしてくれたらどうか?

来館者サービス (案内)

- ・場所をあんないしてくれる人が、ほしいです
- ・子どもがまよわないあんない
- ・ついて案内してくれる人がいるといい

立地・来館手段

- ・公共交通機関をすぐに利用できる場所

その他

- ・自分の作った作品をただで出してほしいです。中学校の美術部とか高校の美術部の作品だけでも出してほしいです (無料で)
- ・身近なもののイベント、などあるといい